

子供宝也

No.20

平成 26 年 7 月 11 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

スッキリ！！：3年3組

この時期になると、どのクラスもまとめのテストが中心なので、なかなかクラスに入ることが難しいのですが、3年3組は算数でした。なんとなくうれしくなって教室に入りました。

「あまりのあるわり算」でした。『23人が4人乗りのボートに乗ります。みんな乗るには何艘のボートがいらいますか。』という問題です。あまりをだすだけでなく、それを1つ分とカウントしなければならないのですが、3年生にとってはちょっと高いハードルになります。

先生が「何算かわかる言葉はどれですか？」「式に使う数字はどれですか？」「答えの単位に○をつけなさい。」と丁寧に問題文を読み進めていました。子どもたちもかなり慣れているようで、問題を見たとなんと同じような作業を始める子どももいました。

でも、「4人乗り」は「4人ずつ」と同じ意味であるというのがなかなか難しいようでした。先生が、23枚の丸いカードを黒板にはって、それを子どもが4つずつ○で囲んで、残った3人はどうしようかなと考えて…。ようやくみんなスッキリした顔になりました。

文章問題は、「文章を数字や数式にして理解する。」(国語から算数に置きかえるとでも言うのでしょうか?)ことが難しいところなのですが、これには、その理解への道筋を反復練習することが大切です。今日のような繰り返しのしっかりついていって、そして、みんながいつもスッキリして授業を終えることができたらいいなと思いました。

めざせ！観察名人！：2年3組

子どもたちが育ててきたミニトマトやなすび、ししとう、ピーマンなどがだいぶん育ってきて、なかには収穫できたものもあります。小さなビニール袋に入れて持ってかえります。子どもたちが心を込めて育てた一品が食卓を飾ることでしょう。(すでに、持ち帰ったものもあるようですね。)

ある女の子が盛んに私を呼びますので、ベランダに行ってみました。まだまだ小さな赤ちゃんのピーマンがいるのです。こんなかわいいピーマンを私は初めて見ました。これが、どんどん成長していく様子を見つめることは、命の大切さを学ぶことになります。今度また、教室に行ってみようと思います。とても楽しみです。

しっかり、観察もしました。このクラスには「観察名人になるための10のワザ」というのがあって、みんなこのワザを駆使して観察カードを書いているのだそうです。そのなかから少し紹介しましょう。

- ・「～みたいだ。～のようだ。」という言葉を使って書く。
- ・どんなにおいがしたかも書く。
- ・どんな手ざわりかも書く。
- ・前に観察したこととのちがいを書く。
- ・一文を短く。
- ・いろいろな方向から見て書く。
- ・数を書く。
- ・大きさ、長さを書く。
- ・「こんな風に食べたい！」を書く。

あとで読ませてもらいましたが、すごい、すごい！！よく書けていました。裏にまで書いている子もいました。表現が豊かで、子どもらしい文がたくさんありました。絵もしっかり描けていました。

みんな、本当に観察名人ですよ。